

学会賞の選考結果について

証券経済学会賞選考委員会

1 応募状況

応募点数 1 点（著書 1 点）

2 選考結果

証券経済学会賞（図書部門）

川本真哉『日本のマネジメント・バイアウトー機能と成果の実証分析』有斐閣、2022 年 1 月刊。

3 講評

選考にあたっては、以下の基準で審査を行った。

- ・ 学術書としての要件を満たしているか
- ・ 研究内容にオリジナリティがあるか
- ・ 問題意識、分析枠組みが明確で、著書としての完成度が高いか
- ・ 先行研究を十分に消化しているか
- ・ 証券経済学会のテーマとしてふさわしいか

応募作は、以上の点すべてを高い水準で満たしており、審査委員全員一致で証券経済学会賞にふさわしいとの結論に達した。

コーポレートガバナンス改革が進む中、MBO は実務的にも学術的にも非常に関心の高い分野となっている。本書は、それに応えた多角的かつ実証的な本格的研究の書と言えよう。まず MBO を金額で主要な形態となっている非公開型、件数でメインとなっているダイインベストメント型等に分類し、動機、買収主体によるプレミアムの差、ファンドの投資先選択の要因、少数株主への影響、非公開後のパフォーマンス、裁量的な会計調整の有無、公正性担保措置の影響等について分析している。

とりわけ、非公開後の財務を含めた膨大なデータの収集にもとづく実証研究であること、各章にあわせた仮説を提示しそれを着実に検証している点、そうした実証から示唆に富んだインプリケーションを導いている点などが高く評価された。

同時に、各章相互の連関、MBO の分類の定義・説明、分析の統一的な視点について、また少数株主の利益への影響について、さらなる研究の進展を期待する声もあった。